

# ART PROJECT 一本音会議 HONNE MEETING

1st Session : 2017.1/14 13:00-15:00  
@ 埼玉県立近代美術館 地下一階展示室



今、全国で芸術祭やアートプロジェクトが実践され、同時にそれに関わる多くの人たちがアートスペースを持ち、独自に展開している。一方で、こうしたアートプロジェクトの課題やアートスペースの運営の問題について、その体験を共有する場は少なく、課題等の解決は個々の現場に任せられ、その対応に現場は疲弊している側面もある。

「本音本」出版プロジェクトは、アーティストやプロジェクト参加者などの様々な立場の人の悩みや本音を紡ぎ、そこで得た経験知を共有することで、次の展開のきっかけにしたいと思って始めた企画である。進めた方は、「本音サイコロ」を振り、出た目のテーマに合わせて本音を語ってもらうシンプルなルールで、テーマは「たのしさ」、「くるしさ」、「せいこう」、「しっぱい」、「続けかた」、「やめかた」の6つとした。

宝船展 2018 の会期中には、第1回「本音会議」を開催し、前の活動の失敗体験から活動の続けかたを工夫している話や活動を続けることで繋がる出会いの楽しさの話、失敗が出来ない状況で続ける難しさの話等、多くの本音を聞くことができた。

来場者から「次回はうちでやったらどうか」との感想もいただき、次回への繋がりもできた。

「本音本」出版プロジェクトは始まったばかりで、これから各地に出掛けて本音を共有できればと思う。ぜひお声掛けいただければ幸いである。お問い合わせは、kapl@excite.co.jp まで



「本音会議」の様子



「本音サイコロ」の目の内容

「本音会議」の中で印象的だったのは、「せいこう」や「たのしさ」といった目の内容よりも、「しっぱい」や「やめかた」といった目の内容のトークの方が盛り上がったことである。

特に、面白かった意見として、『「やめかた」を考えることは、現在のアートプロジェクトや芸術祭の目的を考えていく事に繋がる。いつまでこのアートプロジェクトを行うのかを当事者がイメージできていないことが多い。終わり方の創造の重要度が今後求められるのではないか』という意見が出され、一同納得する場面があった。